

二〇一五年 十二月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

やれなかった やらなかった どっちかな

相田みつを

今月の言葉は、相田みつをさんの言葉です。やるうと思っていたのに、時間がなくてできなかったということがあります。ですが、時間は十分あったにも関わらず、そのままやらずに終わってしまったことの方が多くないでしょうか。そして、「なぜもっと早くやらなかったのか」と自己反省し、まわりの人には「やれなかった」と言い訳をしまう。やらなかったと言い訳は、次々と沸いてくるものです。そんなとき、相田みつをさんのこの言葉が心に突き刺さります。

いよいよ十二月に入り、今年もあと一ヶ月足らずとなりました。まだ今年のうちに行われることであれば、来年に延ばさず行動を起こしてみてもはどうでしょうか。

今月の聖語

聖教はよみやぶれ

『蓮如上人御一代記聞書』

今月の聖語は、本願寺第八代の蓮如上人の言葉です。『蓮如上人御一代記聞書』は蓮如上人の日頃の言葉を記録した書物で、聖教（聖典）はお釈迦様の言葉や親鸞聖人の言葉に出会うことのできるものです。それを読み破るくらい開いて読むことが、聖教を大切にすることになると言われています。

たとえば英単語を覚えたいと思ったとき、ほとんどの人が英単語帳を用いるでしょう。そして、英単語に赤線やマーカーを引き、何度も何度もページをめくって暗記していく。すると、カバーはだんだん汚れ、めくる部分も黒くなっています。ついには、カバーががれてしまうことも起こるでしょうが、それは必死に覚えたという努力の蓄積にも見えます。本は読むためのものであり、蓮如上人が「よみやぶれ」と言われるように、何度も繰り返し読むことが、本を大切にしているといえるのではないのでしょうか。

ちょうど高三のみなさんは、最後の後期考査となりました。教科書を読み破るくらいの思いで、各教科の勉強をしてみましよう。